



目次 -Contents-

1	講習会・講演会情報	2
2	建築士事務所キャンペーン2014のご報告	3
3	建築士事務所キャンペーン基調講演概要	4
4	「木造のいまとこれからを考える」	6
	講演会ご報告	
5	平成26年 秋の黄綬褒章受章のご報告 ...	7
6	日事連九州・沖縄ブロック協議会のご報告 ...	8
7	常任理事会のご報告	9
8	各支部よりお知らせ	10
9	賛助会よりお知らせ	16
10	役員さんの徒然雑記	18
11	事務局よりお知らせ	20

建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

一級・二級・木造建築士定期講習

●平成27年 3月 9日(月) **受付** 平成26年12月9日(火)～平成27年2月20日(金)

臨時開催

会場 福岡建設会館7F **【定員200名】**

※受付は **(公社)福岡県建築士会** にて行います。

●平成27年 3月24日(火) **受付** 平成26年11月25日(火)～平成27年3月6日(金)

会場 福岡建設会館7F **【定員200名】**

※受付は **(一社)福岡県建築士事務所協会** にて行います。

管理建築士講習

●平成27年 3月13日(金) **受付** 平成26年11月25日(火)～平成27年2月13日(金)

会場 福岡建設会館7F **【定員50名】**

お申込書の配布方法》

- 1. (公財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ:<http://www.jaeic.or.jp/>

※平成25年度の申込書では受付ができません。必ず平成26年度の申込書をご使用ください。

- 2. (一社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

尚、申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。ご了承ください。

2

建築士事務所キャンペーン2014のご報告

平成26年11月18日(火) 平成26年度建築士事務所キャンペーンが開催されました

本年度のキャンペーンは第一部として「プロポーザル・コンペから実現までのプロセス」をテーマとした基調講演を、第二部として「福岡県内の高校生並びに専門学校生による建築設計競技表彰」を開催いたしました。当日は181名ものご来場をいただき、無事に終了することができました。ご参加及びご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

基調講演



基調講演

- 「プロポーザル・コンペから実現までのプロセス」

講師

- 講師 吉生 寛 氏 (株)日建設計 設計部 主管

建築設計競技表彰



県知事賞受賞者名

- 高等学校の部 福岡工業高等学校
2年 桑島 直央 さん
- 専門学校の部 麻生建築&デザイン専門学校
1年 田川 裕也 さん

設計競技作品展示



場所

- 福岡市役所1階多目的スペース

期間

- 平成26年11月18日(火)～21日(金)

期間内来場者

- 301名

懇親会



場所

- サルバトーレ クオモ 天神店

日時

- 平成26年11月18日(火)18時00分～20時00分

プロポーザル・コンペから実現までのプロセス

株式会社日建設計 九州オフィス 設計部 吉生 寛

■ プロポーザル・コンペについて

一般的に、設計事務所を競争で選定する場合、設計料入札をのぞくとプロポーザルまたはコンペティションという方法がとられます。プロポーザルは、その事務所及び担当者の実績、技術力、取組体制等を総合的に評価し、具体的な提案は求められません。むしろ、具体的な提案を制限されることがよくあります。他方、コンペにおいては提案そのものが評価されます。

この2つの選定手続きは明確であるものの、実際の場面ではプロポーザル的手続きの中でイメージ図や配置図等ある程度の提案を求められることがありますし、コンペの中で実績や取組体制等を求められることもままあります。私たちは、日々このグラデーションの中で競争をしているわけです。

いくつか実例を紹介しながら、そのプロセスをみていきます。

1. プロポーザル・コンペの実例

舞鶴小学校・舞鶴中学校

この春開校した小中連携校です。福岡市内の大名、箕子、舞鶴の3小と舞鶴中の3小1中が舞鶴小学校の校地にまとまるプロジェクトです。90m角以上のグラウンド、小中各々の体育館が求められたため、校舎とともにそれらを配置するために半地下の体育館の上にグラウンドを設けるという断面的な解決を行う提案をしました。これは一般的なプロポーザルでしたので、具体的な図は描かずあくまでイメージ断面やイメージ平面ゾーニングでの提案でした。当選後、ほぼプロポーザル時の構成のまま完成を迎えることができました。



かごしま環境未来館

鹿児島市内の甲突川沿いの敷地に建つ環境学習施設です。この建物は施設のテーマそのものが「環境」ですので、環境へのネガティブな影響や負荷を減らすだけでは十分ではないと考え、雑草もまばらな敷地（高校跡地）に緑の広場を再生することを提案しました。建物の屋上を全て緑化することで建物のフットプリントも全て緑の広場にするを試みたわけです。これは実績や取組体制等と合わせて配置図やイメージスケッチを求められたプロポーザルでした。このプロジェクトも幸い当初の提案から大きく方針を変えることなく完成しました。



中村学園女子中学校・高等学校

創始者である中村ハル先生の崇高な教育理念を継承する中村学園の中学高校の建て替えプロジェクトです。形式としてはコンペの枠組みの中で提案し当選しました。学校の基本理念である道徳教育と食を象徴する講堂と調理示範室をアプローチに面して配置した建物です。



このように、主催者側の状況やプロジェクトの特性によって我々の提案すべきもの、提案書は様々です。

2. 海外コンペの実例

九州オフィスでは通常前記のようなプロジェクトに参画していますが、時々海外の大型コンペなどがあつた際に東京本社から声がかかることもあります。ここでは私が参加した海外コンペを2つご紹介いたします。諸事情によりどちらとも中断したプロジェクトです。中国のコンペですが、提案書とは別に動画を交えたマルチメディアや大きな模型の提出を要求されました。

蘇州映画城

蘇州の中心市街地から西にある敷地に世界一の映画城、不夜城をつくるというプロジェクトです。当初、諸々スタディしましたが、最終的に蘇州近傍の太湖の太湖石をモチーフにしました。太湖石をポリゴン分割しながら形を調整して全体像を作りこんでいき、3Dデータをフィックスしたあとに輪切りにして平面図や断面図を作成しました。ただし、もとになる平面モジュールは正三角形で整形をつくっています。



北京广安プロジェクト

四合院や胡同が残る北京の市街地にCDD(Central Design District)をつくるというプロジェクトです。これも色々スタディしましたが、低層部で胡同を立体的に重層化してその上にメガフレームで大きな四合院的形態のオフィスをのせるという構成としました。幹線道路に面した表情に対して、低層から連なる内側の表情を大きく変えてヒューマンスケールを与えています。



3. 日事連建築賞奨励賞受賞作品

九電エアカデミー「朋学庵」

コンペとは直接関係ありませんが、日事連建築賞をいただきましたのでご紹介します。基山町に建てられた研修所に併設された「庵」、研修生の精神修養のための施設です。和のイメージでというご要望でしたので、インテリアとエクステリアの境界をなくしていくことを和のエッセンスととらえて構成しました。350mm厚のRC壁式ラーメン構造をベースに、屋根は木造とし@450で梁を渡しています。この梁は120角または105角の規格のひのき直材を圧着した特殊な集成材です。その他、木材や石材に地場産材を多用して地域に根ざした施設を目指しました。

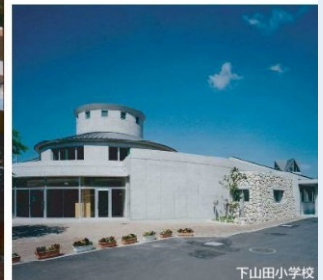


主催・日時・会場

- ▶ 福岡県建築士事務所協会福岡支部
木造研究委員会
- ▶ 平成26年11月15日(土)17:00~18:30
- ▶ 福岡建設会館 701号会議室

講師

- ▶ 鮎川 透 氏 【(株)環・設計工房】



講演会レポート

木造研究委員会は、建築士事務所協会、JIA、建築士会、JSCAの4団体が合同で発足した勉強会で昨年度よりスタートしました。昨年度は地産地消という観点からまず福岡県産材の実態を調査する為、福岡県林業振興課、製材所、施工会社などの方々を交えて、現状や課題についての意見交換会を開催致しました。宮崎県や大分県の流通規模からすれば、かなり遅れをとっている福岡県産材の現状を踏まえて、この4団体が協力して地域貢献できる体制や手法について議論を交わして参りました。

一方でわたしたち建築士が大型木造建築を手掛ける場面が年々増えてきている状況も加味して、今回は実践でご活躍されている建築家の鮎川透さんに「木造のいまとこれからを考える」と題して講演会を開催致しました。鮎川さんが20代の頃から今日まで40年間携わっておられる湯布院旅館「玉の湯」から近作である熊本県山鹿市の「さくら湯」まで、これまで木造建築に関わってこられた経験談は大変貴重で刺激的なお話でした。特に印象深かったのは、さくら湯を実現するために木造建築可能な計画地の用途変更から始め、復元の為に行った膨大な調査資料に基づく建築の骨格づくり、さらには歴史的経緯を尊重しながら現代的機能へと落とし込んでいった建築手法まで、具現化していくための確固たる姿勢に深く感銘致しました。

木造研究委員会では、こうした大型木造建築を手掛けられた建築家の生の声を聞く機会をもっと増やして、社会的ニーズが高まっている木造の建築手法についての勉強会を継続していきたいと思っております。

発足したばかりの委員会ですが、皆さんの活動への参加とご協力をお待ちしております。

【木造研究委員会 副委員長 松山 将勝】

この度の平成26年 秋の褒章受章の報告を致します。



褒章受章者

(一社)福岡県建築士事務所協会 副会長

今村 日出男 氏

当協会副会長 今村 日出男 氏が当協会の推薦により、「多年建築設計監理業に従事するとともに関係団体の要職にあって斯業の発展に尽力した」事から、国土交通省より平成26年秋の褒章を受章されました。

褒章受章式のご報告

日 時 平成26年11月14日(金)
11:00より

式 場 国土交通省10階共用大会議室
(大臣伝達)

皇居拝掲 平成26年11月14日(金)
14:50より



6

日事連 九州・沖縄ブロック協議会のご報告

平成26年度 日事連 九州・沖縄ブロック協議会 第1回会長会議報告

日 時 平成26年11月12日(水)午後2時～5時

会 場 福岡建設会館 304会議室

出席者 佐賀会1名、長崎会1名、熊本会2名、大分会1名、鹿児島会1名、沖縄会1名、福岡会10名

概要 九州・沖縄各県の建築士事務所協会会長が集まり、幹事会の福岡会の井上会長が議長となり、日事連活動報告及び九州・沖縄ブロック協議会の運営、各会が抱えている問題、課題等、各単位会から提出された以下12議題についての協議、意見交換が行われました。また会議終了後に博多・中洲ふぐ一期一会にて懇親会が開催され盛会に終了いたしました。

議 題

- 1. 日事連活動状況報告(日事連副会長 井上 精二福岡会副会長)
- 2. 日事連役員(常置委員)選出について 【佐賀会】
- 3. 日本建築防災協会主催の耐震診断講習会の開催について 【福岡会】
- 4. 九州・沖縄ブロック協議会における事業計画の推進について 【佐賀会,鹿児島会,福岡会】
- 5. マンション等民間大型建築物の大規模改修にかかる顧問契約について 【長崎会】
- 6. 官庁発注の解体・改修にかかる業務費積算について 【長崎会】
- 7. 「公舎の劣化度現地調査業務委託」を受託された事例について 【長崎会】
- 8. 政治団体の設立について 【熊本会】
- 9. 事務所協会と地方銀行との協定締結について 【熊本会】
- 10. 建築士法改正に伴う県の対応の変化について 【大分会】
- 11. 各単位会会員事務所の専業・兼業の割合について 【宮崎会】
- 12. 後継者育成について 【宮崎会】
- 13. 創立50周年記念式典等について 【鹿児島会】
- 14. 改正士法に伴う所属建築士の変更届に係る対応について 【沖縄会】
- 15. 建築士免許証の記載事項の追加(住所、勤務先、省令改正)について 【沖縄会】
- 16. 高等学校生、専門学校生による建築設計競技の各県の取り組み状況について 【福岡会】



7

第9回常任理事会のご報告

日時 平成26年11月12日(水) 11:00~13:00

会場 (一社)福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局 10名参加

1. 協議事項

- ①平成26年秋の褒章受賞者決定について
- ②九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議について
- ③平成26年度建築士事務所キャンペーンについて
- ④福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技における優秀賞受賞者への就職支援について
昨年度より実施している福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技における優秀作品受賞者に対する就職支援について、今年度も資料1の要領で実施したい旨提案がなされ承認された。
- ⑤建築士事務所協会全国会長会議開催について
自民党建築設計議員連盟総会、日事政研建築士事務所政経フォーラム(12月4日(木))
- ⑥会誌「日事連」平成27年1月号掲載「年男・年女の初夢」執筆者選定のお願い(日事連)
- ⑦職員冬季賞与の支給について

2. 報告事項

- ①防火戸等緊急調査業務実施中間報告
防火戸等緊急調査業務実施中間報告がなされた。最終的な調査件数は2,000件を超える予定である。今後調査補助員は県本部事務局に来ていただき調査データを整理する予定である。
- ②指定事務所登録機関関係報告
- ③法定講習実施報告、実施計画について
平成26年度法定講習の実施報告、実施計画の説明がなされた。なお、受講希望者数が年間実施計画を超えているため3月24日(火)に当協会担当により追加で建築士定期講習を開催することが説明された。
- ④福岡県知事指定講習「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」申込み状況について
- ⑤女性部会、趣味の会開催報告
 - ① 女性部会
10月11日(土)にヒルトン福岡シーホークにおいて女性部会が開催され、8名参加された旨報告がなされた。次回は12月13日(土)にハイアットリージェンシー福岡で開催され、2月14日(土)に久留米市で実施予定の「城島酒蔵びらきと建物見学会」に向けての協議が行われる予定である。
 - ② 趣味の会
10月11日(土)に趣味の会の囲碁・将棋大会が開催され、8名参加された旨報告がなされた。今後、11月29日(土)にボウリングの会が開催される旨説明がなされた。
- ⑥建築設計3団体意見交換会開催報告
- ⑦日事連関係

3. その他

- ①次回日程について
12月11日(木) 13:30~ 常任理事会 / 15:30~ 理事会

北九州支部からのお知らせ

11月 定例幹事会のご報告

日 時 平成26年11月11日(火)16時～18時

場 所 西部ガス ひなた

出 席 者 林支部長、高崎、小野、望月、久松、山口、吉永、佐々木、望月、久松、山本、藤本

11月7日に開催された藤本副会長の国土交通大臣表彰受賞祝賀会のお礼の趣旨の挨拶の後、林支部長挨拶がありました。

議 事

① 11月度研修会について

- ・11月21日の研修会の出席が少ないので、山口副支部長、吉永委員長に直接連絡し増員を図る。目標40名。
- ・合わせて研修会終了後、食事処 お花で懇親会を行う。講師は無料、参加者は4,000円
- ・講師の先生に次第の確認をする。

- 岡部株式会社 → 林支部長・事務局
- 日本ERI北九州支店 → 林支部長・事務局
- 北九州市立大学 津田教授 → 藤本

- ・北九州構造設計技術者協会との共催とする。

② 忘年会について

- ・日時12月9日、場所未定→山口副支部長に一任、予算7,000円会員負担3,000円但し2人目からは7,000円
- ・開催の前に12月度の定例幹事会を早めの18時より開催する。忘年会は18時30分より開始。
- ・忘年例会の時に賛助会のPRタイムを設ける。

③ その他

- ・平成27年度の北九州建築設計6団体の打ち合わせを早急に進める。
→当番幹事のJIAの三迫地域会会長に連絡する。



11月幹事会
(西部ガス ひなた)



日本ERI(株)による講習
(戸畑生涯学習センター)



津田教授による講習
(戸畑生涯学習センター)

11月度研修会のご報告

下記の内容で研修会を開催いたしました。

- 日時** 平成26年11月21日(金) 13時～17時
- 場所** 戸畑生涯学習センター 第2集会室
(北九州市戸畑区中本町7-20 電話:093-882-4281)
- 研修内容**
- 13:00～13:10 支部長、会長挨拶
 - 13:10～13:50「座屈拘束ブレース・B-UPブレースについて」
講師 岡部株式会社 工学博士 藤井 俊二 様
 - 13:50～15:20「既存不適格建物の増築に対する構造計算の内容」
「住宅の省エネルギー施工技術・法令関係」
講師 日本ERI株式会社北九州支店 森園 泰二 様
鳥居 清一 様
 - 15:20～15:30 休憩
 - 15:30～17:00「CFT構造の概要と施工方法」
講師 北九州市立大学 国際環境工学部 建築デザイン学科
工学博士 津田 恵吾 様



冬の例会について

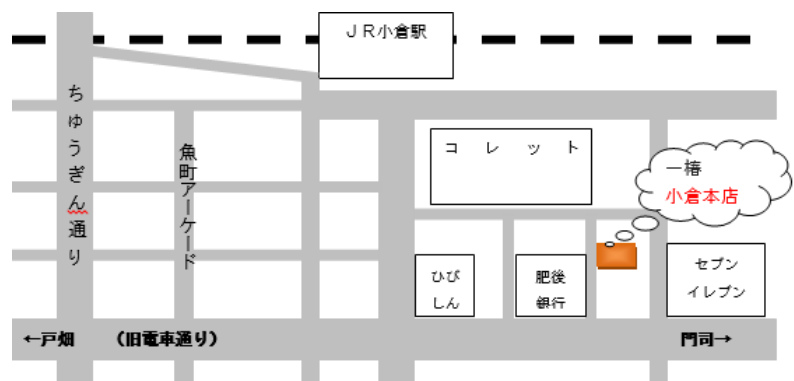
この度、下記の要領にて12月度例会を行いました。

例会後には忘年会を開催いたしました。参加された皆さま、ありがとうございました。

- 日時** 平成26年12月9日(火)
例会…… 18時～18時30分
忘年会…… 18時30分～20時30分

- 会費** 3,000円/人(2人目以降 7,000円/人)

- 場所** 一橋 小倉本店
小倉北区米町1-2-10
(093-521-9141)



筑豊支部からのお知らせ

研修会のご報告

- 日 時** 平成26年12月10日(水) 12時30分～
- 場 所** ● トヨタ自動車九州 工場見学
● 九州住友ベークライト(株) 研修・工場見学

第5回幹事会を開催いたしました

- 日 時** 平成26年12月10日(水) 18時00分～
- 場 所** 直方市(食事処 樹)

《議 題》

- 本部会議 報告
- 全国大会 報告



福岡支部からのお知らせ

「福岡県建築倶楽部新年の集い」のご案内

早いもので、7団体で共催する年頭恒例の合同新年会のご案内をする時期になりました。来年も建築倶楽部合同の新年の集いを下記のように計画しています。例年通り、堅いあいさつは少しにして和やかに、美味しい料理とお酒で新年会を盛り上げましょう。

みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参会の程を幹事一同お待ちしております。

- 日 時** 平成27年1月16日(金) 18時30分～
- 会 場** タカラホテル福岡
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-7-21 TEL. 092-731-1661
- 会 費** 5千円/一人 当日ご納入下さい。

- 申 込** FAXにて福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局までお申込み下さい。
※会場準備の都合上、本年12月19日(金)迄にお申込頂きますようお願い申し上げます。
なお、当日欠席の場合は会費をご負担頂きます。

■ 回答先:(一社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局
TEL 092-473-5506 FAX 092-473-7676



「建築基準適合状況調査のためのガイドライン説明会」開催のご報告

11月25日（火）福岡建設会館7階におきまして、上記説明会を開催いたしました。当日は、約70名もの方にご参加いただきました。

講習会内容

▶ 検査済証のない建築物にかかる指定確認検査機関を活用した建築基準法適合状況調査

国土交通省が2014年7月2日公表した「検査済証のない建築物に係る指定確認検査機関を活用した建築基準法適合状況調査のガイドライン」の概要（策定の背景と目的、基本的な考え方、調査の方法など）について説明し、あわせて、本ガイドラインに基づく調査機関としてのビューロベリタスジャパンの役割・業務を紹介。



▶ 確認申請でよくあるミス、気をつける点（最近の法改正をふまえて）

民間の確認検査機関として、確認申請でよくあるミスや気をつける点、行政での許可と確認申請の関係等を最近の法改正（EVの容積緩和等）・今後の法改正の予定をふまえ、申請書の書き方や図面の明示事項の明示方法も加えての説明。

事業委員長 二田 司

「建築関連法規の改正等」講習会開催のご報告

10月28日（火）福岡建設会館7階におきまして、「建築関連法規の改正等」講習会を開催いたしました。当日は、80名もの方にご参加いただきました。

講習会内容

- ▶ 平成26年度建築基準法の改正等について
—平成26年度 合理的かつ実効性の高い建築規制制度の構築—
- ▶ 防犯環境設計指針について
- ▶ 消防法令の改正について



事業委員長 二田 司



H26年度 福岡支部忘年会について

福岡支部忘年会を開催します。支部としての年内最後のイベントになります、皆で楽しいひと時をすごしましょう。

- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 日 時 | 平成26年12月16日（火）18：30～20：30 |
| 場 所 | 磯貝ちゃんこのかきごや（福岡市中央区天神1-11-17 福岡ビル屋上） |

- ※当日のキャンセルについては、キャンセル料が発生する場合がございます。
- ※当日の事務局連絡先：080-6421-1750 何かございましたらご連絡ください。



県南支部からのお知らせ

H26年度 福岡県建築士事務所協会県南支部 研修旅行のご報告

11月2日（日）より1泊2日の行程で13回目の県南支部の研修旅行で大分まで行ってきました。今回の参加者は23名となり、バスの中では楽しく賑やかにおしゃべりをして、大分の別府に到着しました。



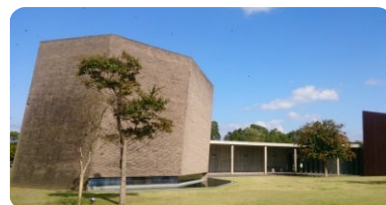
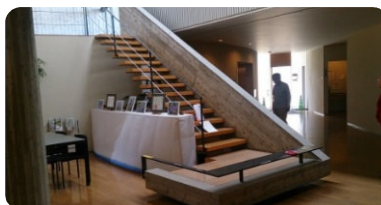
まずは、[京都大学地球物理学研究所](#)を訪れました。ここでは火山や地熱、温泉の研究をしているようです。建物も古代ギリシャ建築の柱頭もあり、左右対称なのが印象的でした。

次に[旧野口病院](#)を訪れました。とても古い建物で洋風な造りでこちらも左右対称で均整がとれていました。

次に[大分県公文書館](#)に行きました。こちらは大分市出身の建築家磯崎新氏の設計で高い吹き抜けのある玄関ホールが特徴的でした。

次にオープンして間もない[ホルトホール大分](#)、現在建築途中の[新大分駅ビル](#)を見学してきました。

そして初日に一番印象に残った建物である[OPAM大分県立美術館](#)を訪れました。来春オープン予定ですが建物はほぼ完成しているようでした。建築家は有名な坂茂氏です。大分県の伝統でもある竹工芸をイメージした組木の構造体と可変可能な前面ガラス戸など、斬新なデザインで圧倒させられました。



翌日は伊東豊雄氏が設計した[大分農業文化公園](#)から中津城を見学して、槇文彦氏設計の[風の丘葬祭場](#)を訪れました。広大な敷地に斜めの建物等、とても火葬場には思えないのが印象的でした。中も浮いた様に見える階段など皆さん興味深々に見学していました。

最後に耶馬溪散策をしてきました。もうちょっとでいい紅葉だったんですが、自然に心身共に癒された様な気がしました。

今回もいろいろな建築家の建築物に触れ、本会員と賛助会員も更に親睦を深められた良い旅だったと思います。このような素晴らしい研修旅行を企画、運営していただきました幹事様の方々に感謝致します。ありがとうございました。



《H26年11月 賛助会員 中島圭司》

大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

日時・場所 平成26年 11月25日(火)18時30分より (事務局会議室にて)

出席者 支部長:高巢 副支部長:宗正 常任幹事:中野 幹事:永江 監事:水町

■ 1. 報告事項

- ①11月2日(日) ●支部旅行(人吉:青井阿蘇神社、焼酎工場、球泉洞
~3日(月) ~天草西海岸:大江教会、天草ロザリオ館、崎津教会)
- ②11月7日(金) ●藤本副会長国土交通大臣表彰祝賀会(リーガロイヤルホテル)
- ③11月12日(水) ●第9回常任理事会
●九州・沖縄ブロック協議会会長会議 出席者:高巢
- ③11月15日(土) ●木造のいまとこれからを考える講演会 出席者:高巢
- ④11月18日(火) ●建築士事務所キャンペーン 出席者:宗正、高巢
・基調講演
「プロポーザル・コンペから実現までのプロセス」
・高校・専門学校生コンペ表彰式
- ⑤その他 ●賛助会員本田産業株のおまかせな祭(11/8・9)の行事
→11月6日(木)会員・賛助会員に案内送付

■ 2. 協議事項

- ①新年会について
- ②その他(12月行事について)



次回幹事会:平成26年 12月22日(月) 18:30~ 於事務局

福岡支部 賛助会バス研修ツアーのご報告

2014年11月20日（木） 今年も建築士事務所協会、建築士会の賛助会主催バス研修ツアーを開催いたしました。正会員・賛助会員の皆様には、お忙しい中ご参加いただきまして有難うございました。心から感謝致します。

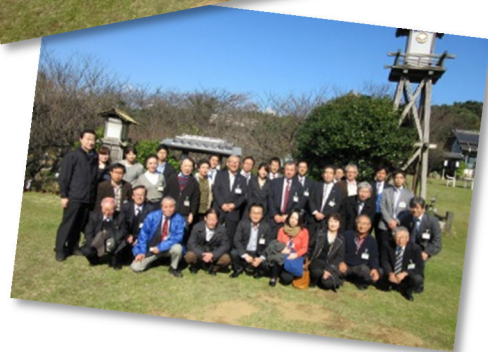


今回は、北九州市小倉にありますTOTO(株)様の工場ならびに資料館の見学に伺いました。

日本初の衛生陶器量産工場であるTOTO(株)の小倉工場は、「東洋陶器株式会社」として1917年に設立しました。原材料及び燃料の石炭調達がしやすく、アジアへの輸出にも便利という理由からこの地が選ばれました。最新機種の機能説明や製造ラインのすべてを見学することができました。

また、歴史資料館内には、「近代化産業遺産」「建築設備技術遺産」「機械遺産」に定された昔の衛生器具や食器、カタログなどの資料を展示しており、当歴史資料館が所蔵している博物品情報の閲覧もできます。磁器洋食器、和食器の製造と輸出していた時代の食器、花瓶、灰皿なども見学できました。

当日は2班に分かれ、工場内を案内していただきました。見学に於いて社員の皆様の手厚いお出迎えと分かり易い説明ありがとうございました。



工場見学後には、芦屋の魚庵 千畳敷において懇親会が開かれました。
皆様、和気藹々と楽しんでいただきました。



くじ引き大会で盛り上がった後は、
賛助会恒例となりました炭坑節です。

岩崎さんのお手本に習い、徳永幹事の唄に合わせて参加者総出で踊りました。又、懇親会終了後に芦屋釜の里見学も行いました。
こちらでは、お茶室にてお抹茶とお菓子をいただきました。



今年も大変充実した研修会となりました。
来年も皆様に喜んでいただける企画を幹事皆で力を合わせ
提供できるよう努力してまいりますので、
ご協力お願い致します。

福岡支部賛助会会長 吉元和也



今月は

副会長
高巢 光男さん（株高巢設計事務所）



編です



読書雑感

「藤村操」の名前を識ったのは中学2年生の秋の日だった。フラッと立ち寄った図書館の、あるコーナーの書籍の中に彼の名前が載っていた。そこには当時（明治36年5月22日）の新聞記事の中で、「東京第一高等学校一年生（16歳10ヶ月）の少年が華厳の滝に身を投じた。その落ち口の近くの大樹を削って「巖頭之感」と題した一文が墨書きされていた」と報じられていた。弟の「藤村朗」は建築家であり「三菱地所」の社長にもなった人物である。

夏目漱石も彼を偲び、「水の底、水の底。住まば水の底。深き契り、深く沈めて、永く住まん、君と我。（水底の感）」という新体詩を作っていた。（日経新聞 平成26年9月29日文化欄より）

その「巖頭之感」を記す。

「悠々たる哉天壤、遼々たる哉古今、五尺の小軀を以て此大をはからむとす。ホレーショの哲學竟に何等のオーソリティーを價するものぞ。萬有の真相は唯だ一言にして悉す、曰く、「不可解」。我この恨を懐いて煩悶、終に死を決するに至る。既に巖頭に立つに及んで、胸中何等の不安あるなし。始めて知る、大なる悲観は大なる樂觀に一致するを。」



当時の13歳の私にはその内容が丸っきり理解出来なかった。否、その内容の「ホレーショの哲學」と「不可解」等のボキャブラリーが綴られていたものの、3年後の同年齢になった私を想像した時に、この「一文」は絶対に思想出来ないし、表現出来ないというショックを受けた。

兎に角沢山読書をしていつかは彼の心境を理解出来る「少年」にならなければならないと強く感じた。それからというもの、これ迄の学生・社会人を通してジャンルを問わず沢山の書籍を読書して来たつもりであるが……。

その中で、日経新聞の連載小説を読み始めたのはいつの頃だっただろうか？

今連載中の「禁断のスカルペル」（久間十義）から以前の「波止場浪漫」（諸田玲子）、「鞭鞭の馬」（辻原登）。「等伯」（安部龍太郎）、「黒書院の六兵衛」（浅田次郎）、「甘苦上海」（高樹のぶ子）、「望郷の地」（北方謙三）、「世界を創った男 チングス・ハン」（堺屋太一）等々。そして「愛ルケ」こと「愛の流刑地」（渡部淳一）に関しては友達と毎朝TELして内容の確認をしたものだ。

その渡部淳一氏が恰も自分の後継者かの様に藤田宜永の小説の解説をしていた。

晩秋の夜長に今「藤田宜永」の小説を全て読み終えたばかり。彼の小説の中には取材・調査を綿密にしなければ、これ程のポキャラリーを駆使出来まいと思われる程、料理・音楽・地名・ワイン名・アパレル・認知度の希薄な職業（壁画修復師、花材職人、仕立屋、義肢装具士、装飾師、ガラス工芸師 etc）・動植物名等が広範囲にばら撒かれている。音楽の項目一つをとっても、クラシック・ポピュラー等の曲名が多岐に渉る。「ジビエ料理」については何の知識も持ち得なかった。これからも『不可解』の「解」を解くべく、暗中模索の読書が続いていこう。



これ迄読書した中で本棚の中に眠っているいくつかの書籍を紹介します。

「明治事物起源事典」は昭和43年1月発行。社会・文化・産業・生活の各部で編成。殆どの事物が明治時代に成立していて、現代に継続している事が理解出来る。

「文壇史事典」は昭和47年7月発行。明治（尾崎紅葉と硯友社）から昭和（川端康成の自殺迄の文壇史）が掲載されている。

國文學「解釈と鑑賞」の初刊は昭和11年7月。表題と内容が面白くて途中から毎月購読していたが、手元に残っているのは次の2冊だけ。今では貴重な書籍のひとつになった。



「解釈と鑑賞」の別冊で途中からこの『現代のエスプリ』が1963年(昭和38年)に創刊された。この書籍の特徴は専門的なテーマを時代の先駆けとして“一号一特集”の編集で試みている所にある。

私の手元には第26号(夏目漱石 昭和42年7月)から第531号(精神科診療所の現在 平成23年7月)迄の506冊が並べられている。残念ながら諸般の事情でこの号で休刊となった。



『福岡市 予定建築物の看板』トタン仕様の販売終了のお知らせ

これまで当協会で購入しておりました、福岡市予定建築物の看板につきまして、トタン仕様のお取り扱いを終了させて頂くこととなりました。今後はターポリン地仕様のみでの販売となります。誠に申し訳ございませんが、皆さまには何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

仕 様	一般価格 (税込)	会員価格 (税込)
ターポリン地 (木枠付き)	7,764円	6,764円
ターポリン地 (木枠なし)	4,388円	5,388円

事務局より

12月に突入しました。師走の名の通り、年末に向けて奔走されている方も多いでしょう。一年で最も街が華やかこの季節、市街はクリスマス一色。趣向を凝らしたイルミネーションも輝いて、街を歩くと浮き浮きとした気分になりますね。今回はクリスマスについて雑学を少し。

日本でクリスマスがこんなにも盛大な行事になったのはいつ頃からでしょうか？そもそも日本にクリスマスが持ち込まれたのは**戦国時代**のこと。宣教師フランシスコ・ザビエルが信徒を集めてミサを行ったことが始まりといわれています。しかし江戸幕府がキリスト教禁止令を発令したことより、日本の歴史からクリスマスは姿を消してしまいます。



第二次世界大戦の影響で一時的に影をひそめたものの、東京の有名デパートを中心に少しずつクリスマス商戦は復活していきます。さらに60年代の高度経済成長にともなって盛大にクリスマスを祝う習慣が定着しました。チキンとケーキがディナーに並ぶのも日本オリジナルの光景です。

さてクリスマスといえばプレゼント。子ども達にとっての一大イベントですが、「12月25日の朝にクリスマスにサンタクロースがプレゼントを届けてくれる」という**日本**や**アメリカ**のスタイルは**イギリス**流。**イタリア**にはサンタの代わりに「箒に乗った魔女のベファーナがプレゼントを持ってくる」という言い伝えもありますし、**ドイツ**や**オランダ**には悪い子は石炭をプレゼントされたり、木の枝でぶたれたりするちょっと厳しいクリスマスもあるそうです。プレゼントを渡される日も12月6日だったり1月6日だったり様々。キリスト教と各地の土着信仰が結びついて、各国様々なクリスマスの祝い方があるようです。興味がある方は詳しく調べてみるのも面白いかもしれませんね。

(事務局：上杉)



最新の情報はホームページにてお知らせしています。新着情報コーナーをご覧ください。

<http://www.f-aa.jp/>

■記事掲載等のお問い合わせについて

(一社)福岡県建築士事務所協会 「建築福岡Monthly」編集担当までご連絡ください。

■ TEL:092-473-7673 / FAX:092-473-7278 ■ E-mail: info@f-aa.jp